

表1 猪串湾赤潮プランクトン検鏡結果

令和6年9月24日

単位:細胞数/ml

採集地点	調査時間	水深	水温	塩分	溶存酸素	シャットネラ	カレニア	ヘテロシグマ	コクロディニウム
		(m)	(°C)	(PSU)	(mg/l)	sp.	ミキモトイ	アカシオ	ホリクリコイテス
1. 森崎	9:56	0	23.5	33.16	6.0	10	0	0	0
		2	23.4	33.22	6.0	0	0	0	0
		5	23.2	33.36	5.9	0	0	1	0
		10	23.0	33.42	5.8	0	0	0	0
		14.3	22.8	33.50	5.4	0	0	0	0
2. 越田尾	10:43	0	24.3	33.33	6.5	0	0	0	0
		5	23.5	33.39	6.3	0	0	0	0
3. 猪串		欠測							
4. 鵜の糞		欠測							
5. 小蒲江		欠測							
6. 屋形島		欠測							
7. 赤バエ		欠測							
8. 蒲江赤灯台	10:03	0	24.0	***	***	0	0	1	0
		2	23.4	***	***	0	0	0	0
9. 丸市尾	9:12	0	24.5	***	***	0	0	0	0
		2	23.6	***	***	1	0	0	0
10. みごの浦	10:35	0	24.2	33.36	6.4	0	0	0	0
		5	23.9	33.38	6.4	1	0	2	0

※0mの水温・塩分・DOはクロロテックの0.5mの測定データによる

※8,9は南部振興局採水

参考: 赤潮注意・警戒密度(単位:細胞数/ml)

プランクトン	注意密度	警戒密度
シャットネラ spp.	10以上	100以上
ヘテロシグマ・アカシオ	5000以上	50000以上
カレニア・ミキモトイ	200以上	2000以上
コクロディニウム・ホリクリコイテス	30以上	300以上

\* 警戒密度は漁業被害が想定される密度です。

\* アラビ、サザエ等ではカレニア・ミキモトイで100~200細胞/mlで斃死する可能性があります。

\* マグロに関しては、赤潮注意・警戒密度に1/10を乗じた細胞密度とする。

## 連絡事項

有害プランクトンのシャットネラ属とヘテロシグマ・アカシオが確認されました。

シャットネラ属は注意密度を超えています。  
今後の細胞密度の推移にご注意ください。

